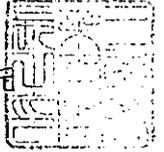


土第 1161 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

桑名市長 水谷 元



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付の国道企第37号で依頼のありました「今後の道路行政についての意見・提案について」別紙様式①、②、③、④のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

桑名市

- ・ 高速道路料金割引について画一的料金割引ではなく、地域の特性に応じた料金割引を要望します。
たとえば、桑名市長島町地内、なばなの里イルミネーション期間中の国道1号・23号の渋滞解消のための東名阪・新名神高速道路料金割引期間・時間の設定等を要望します。
- ・ 狭隘な生活道路の改善に対する補助金制度を要望します。
- ・ 道路特定財源の一般財源化については、地方公共団体への道路整備のための財源を確保して地方の道路財源を充実されるよう強く要望します。
- ・ 一般国道1号北勢バイパスの延伸として、国道1号の桑名市・朝日町・川越町地内の4車線化を要望します。
- ・ 国道・県道の幹線道路等で歩行者、自転車がスムーズに対向出来ない歩道の整備を要望します。

② ー 1 地域の現状と抱える課題

桑名市

| | |
|---|--|
| <p>○現状</p> <ul style="list-style-type: none">・ 国道 1 号の伊勢大橋は旧長島町と連絡する生活道路で、慢性的な渋滞が非常に問題になっている。さらに桑名市は東海地震の地震防災対策強化地域、東南海・南海地震の地震防災対策推進地域に指定されており、大規模地震の切迫性がある地域である。・ 桑名市は企業立地として、多度方面に産業誘導ゾーンと位置づけ、富士通に代表される多度工業団地、NTN に代表される多度第 2 工業団地、民間開発による工業団地がある。今後も新たな大規模開発として多度力尾土地区画整理事業（開発面積 7 3 ha、分譲可能面積 3 0 ha）がある。これらの地区へのアクセス道路と隣接する道路として国道 2 5 8 号ある。 | <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ 安心・安全の確保のため、伊勢大橋の架け替えが地域の悲願となっている。・ 地域の自立と競争力強化のため、国道 2 5 8 号の全線 4 車線化が必要となっている。 |
|---|--|

② ー2 地域の目指すべき将来像

- ・ 本市は、市の将来像である「水と緑と歴史が育む豊かな快適交流文化都市」の実現をめざし、重点的・優先的に取り組む施策として、「安心・安全なまちづくり」「人にやさしいまちづくり」「元気なまちづくり」「魅力あるまちづくり」の4施策を戦略プログラムとして位置づけている。施策がめざす桑名市の道路の将来の姿として、「渋滞のない円滑な移動ができる利便性の高い道路ネットワークが整っています。」「誰もが安心・安全に移動できる道路環境が整っています。」「高齢者や障害者にやさしいバリアフリーの道路となっています。」をめざしている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

桑名市

| ○ 重点事項 | ○ 代表事例 | ○ 期待する効果や評価等 | ○ その他 |
|-------------------------------------|--|---|-------|
| <p>地域の活力の向上</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道258号全線4車線化 ・ 国道1号伊勢大橋の架け替え | <ul style="list-style-type: none"> ・ 主要渋滞ポイントの解消でき、物の流が早くなり、コスト縮減となり、延いては市の財政にも影響し、地域の活力の向上につながる。 ・ 主要渋滞ポイントの解消でき、観光客の増加、延いては市の財政にも影響し、地域の活力の向上につながる。 | |
| <p>少子・高齢化に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様で広域的な輸送サービス網 ・ 歩行空間のバリアフリー化 ・ 踏み切り拡幅 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 安心・快適に移動可能な利便性の高い交通体系の構築、安全・安心な歩行者空間の創出により、誰もが安心・安全に移動できる。 | |